with your life

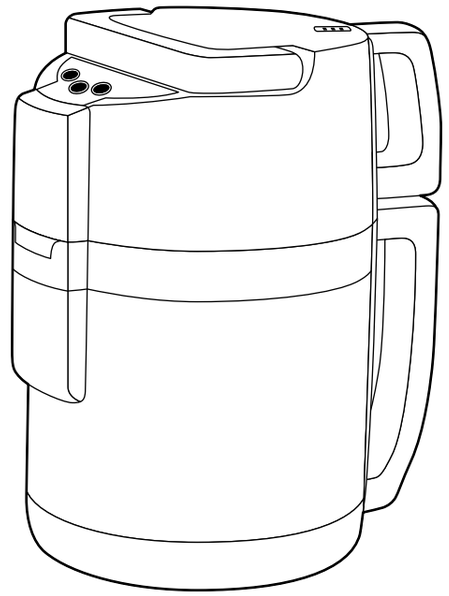
FUKAI

motenashi
CHAYA

全自動野菜スープメーカーFSM−3000　家庭用

取扱説明書

（保証書付）



目次

製品外観/付属品 —— 2
各部の名称 —— 3
安全上のご注意 —— 4
スープの作り方 —— 8
リゾットの作り方 —— 11
使用後の洗浄とお手入れ —— 13
修理をご依頼される前にご確認ください —— 14
保証書 —— 15
製品仕様 —— 裏表紙

このたびは全自動野菜スープメーカーFSM−3000をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。

フカイ工業株式会社

製品仕様

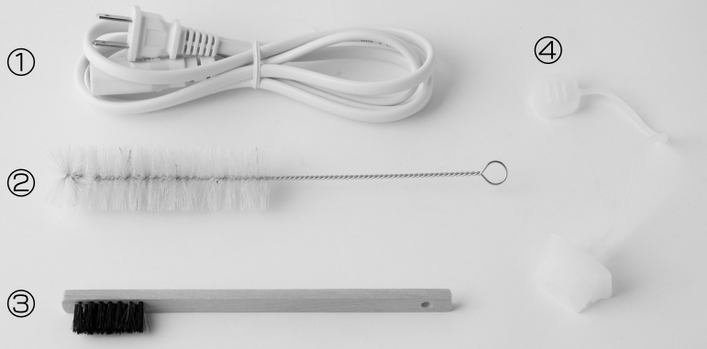
品　　名：全自動野菜スープメーカー
形 式 名：FSM-3000
定格電圧：AC100V 50/60Hz
消費電力：ヒーター 900W
　　モーター 250W
本体寸法：230×170×260（mm）
重　　量：2.8kg
生 産 国：大韓民国
材　　質
容器本体外側　ー ステンレス/ABS樹脂
容器本体内側　ー ステンレス
ヘッド本体上部　ー ABS樹脂
ヘッド本体下部　ー ステンレス
カッター　ー ステンレス
ヒーター　ー ステンレス

フカイ工業株式会社
http://www.fukai-ind.co.jp
〒567-0835 大阪府茨木市新堂1丁目22番18号 TEL：072-636-5899

製品外観

⑤

付属品



※各付属品がそろっていることをご確認ください。

① 電源コード

※電源コードは本体製品以外には使用しないでください。

② ネジリブラシ

③ 板ブラシ

④防水キャップ

⑤ スタンド（容器フタ兼用）

保証書

※本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

本書はお買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合に、下記の保証内容により無料修理を行うことをお約束するものです。

※お客様にご記入いただいた保証書の写しは保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。

保証規定

1.取扱説明書の記載内容に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、お買い上げ後１年間無料で修理いたします。

2.修理ご依頼品のご持参およびお持ち帰りの場合の交通費等、また発送料および諸経費はお客様のご負担になります。※ご郵送される場合、傷がつかないようにやわらかい紙や布で包んでダンボール箱に入れてください。

3.保証期間内でも、次の場合には有料修理になります。

イ.本証の提示がない場合。または本証にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名のない場合、
あるいは字句を書き替えられた場合。

ロ.使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。

ハ.使用中に生じたキズ、汚れなど外観上の変化。

ニ.火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、及び盗難などによる故障及び損傷。

ホ.落下等不注意、ならびに乱暴な扱いによる故障、損傷。

ヘ.車両、船舶などに搭載された場合に生じる故障及び損傷。

ト.一般家庭以外（たとえば業務用）に使用した場合の故障及び損傷。

4.本製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は製造打切後6年間保有しています。

5.本書は日本国内においてのみ有効です。

保証期間	お買い上げ日より1年
品名･型式	全自動野菜スープメーカー　FSM-3000
お買い上げ日	年　月　日
お客様	閲覧専用につき、この保証書はご使用いただけません
お買い上げ店	

※本書の内容ならびにご不明の点は、お買い上げの販売店またはサービス係りにまでご相談ください。

フカイ工業株式会社　お問い合わせ先 フリーダイヤル 0120-81-8114　受付時間 平日9:00～17:00(12:00～13:00を除く) 土・日・祝日・当社指定の休日等を除く

安全上のご注意

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●この「安全上のご注意」は必ずお守りください。

注意事項は次のように区分しています。

警告　誤った取扱をしたとき、人が死亡または重症を負う危険性が想定される内容。

注意　誤った取扱をしたとき、人が傷害を負う危険性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

この記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを示すものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを示すものです。図の中や近傍に具体的な禁止事項が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を示すものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

警告

濡れた手で差込プラグを抜き差しをしないでください。

・感電やケガの原因となります。

差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

・感電、ショート、発煙、発火の原因となります。

定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

・他の器具と併用すると分岐コンセントが異常発熱して発火の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。

・電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

改造は絶対にしないでください。また、修理技術者以外の人は分解したり修理しないでください。

・火災、感電、ケガの原因となります。
・修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは使用しないでください。

・感電・ショート・発火の原因となります。

使用後のご注意

ご使用後はヒーターの温度が十分に下がってから、お手入れしてください。
汚れたままにしますと、不衛生になったり、サビ、コゲ、カビ等の原因になります。
また、乾くと汚れが落ちにくくなります。充分に洗い流して、水気を拭き取ってから保管してください。

使用後はヒーターに余熱が残ってます。
洗浄の時は火傷しないように、温度が下がってからお手入れしてください。

シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、漂白剤などは使用しないでください。ただし、ヒーター部に付着した食材のコゲを取り除く場合は、金属たわしをご使用ください。

本体、容器を食器洗い器で洗浄しないでください。

使用後の洗浄とお手入れ

■本体洗浄のしかた

●洗浄する前には、必ず防水キャップを放熱口と本体電源コード接続部の2カ所の位置につけてから洗浄してください。

●カッターの刃や隙間などの洗いにくい部分は、必ず付属の板ブラシやネジリブラシをご使用ください。
●カッターの刃部は十分に注意して洗浄してください。

●本体の丸洗いは絶対にしないでください。
※防水キャップをしても、水が入ることがあります。
●本体上部に水がかからないように十分注意してください。故障の原因になります。
●食品カスを十分に洗い流し、水気をよく拭き取ってから保管してください。
サビの原因になります。

■容器の洗浄とお手入れ

●容器は食器用洗剤と柔らかいスポンジを使用して洗浄してください。
●容器は、容器自体の変色や腐食はありませんが、水アカや水の中の鉄分の酸化により、表面が変色したりします。日ごろからこまめにお手入れしておいてください。

修理をご依頼される前にご確認下さい。

音が大きい

●かたい材料を粉砕するとき、より大きな音や振動が発生しますが故障ではありません。
●本器の設置場所は平らで安定した場所でご使用ください。

粉砕が粗い

●正しい分量でご使用しているかご確認ください。
●野菜の種類やカットの大きさにより、粉砕されないことがあります。
かたい野菜（人参など）はなるべく細かくカットするか、電子レンジで過熱して下ごしらえするようにしてください。

泡が吹き出る

●あくの出る野菜は、下ゆでしてからご使用ください。
●冷凍された食材を使用していませんか?冷凍ものを使用した場合、設定時間内に沸騰しないため、温度が上昇せず大量の泡が発生することがあります。
材料は完全に解凍してかからご使用ください。
●正しい分量でご使用しているかご確認ください。

**異臭がする
ヒーターが
こげる**

●正しい分量でご使用しているかご確認ください。
※作動中にヘッドを持ち上げるとヒーターに付着した食材が焦げますのでおやめください。
●水が少なくないですか?
●電圧に以上はないですか?
※ヒーター部に付着した食材のコゲを取り除く場合は金属たわしをご使用ください。
●牛乳や、油脂分の多いものを入れていませんか?

**スイッチを
押しても
ランプが
点灯しない**

●電源コードをしっかり差し込んでいますか?
●ブレーカーが落ちていたり、停電になっていませんか?
●安全スイッチが容器の突起に重なりしっかりセットされていますか?
●ヘッド本体に水がかかったり、水の中に浸ったりしたことがありませんか?
その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

**ランプが
点滅する**

3つのランプが点滅する。
●水の量は正しいですか?

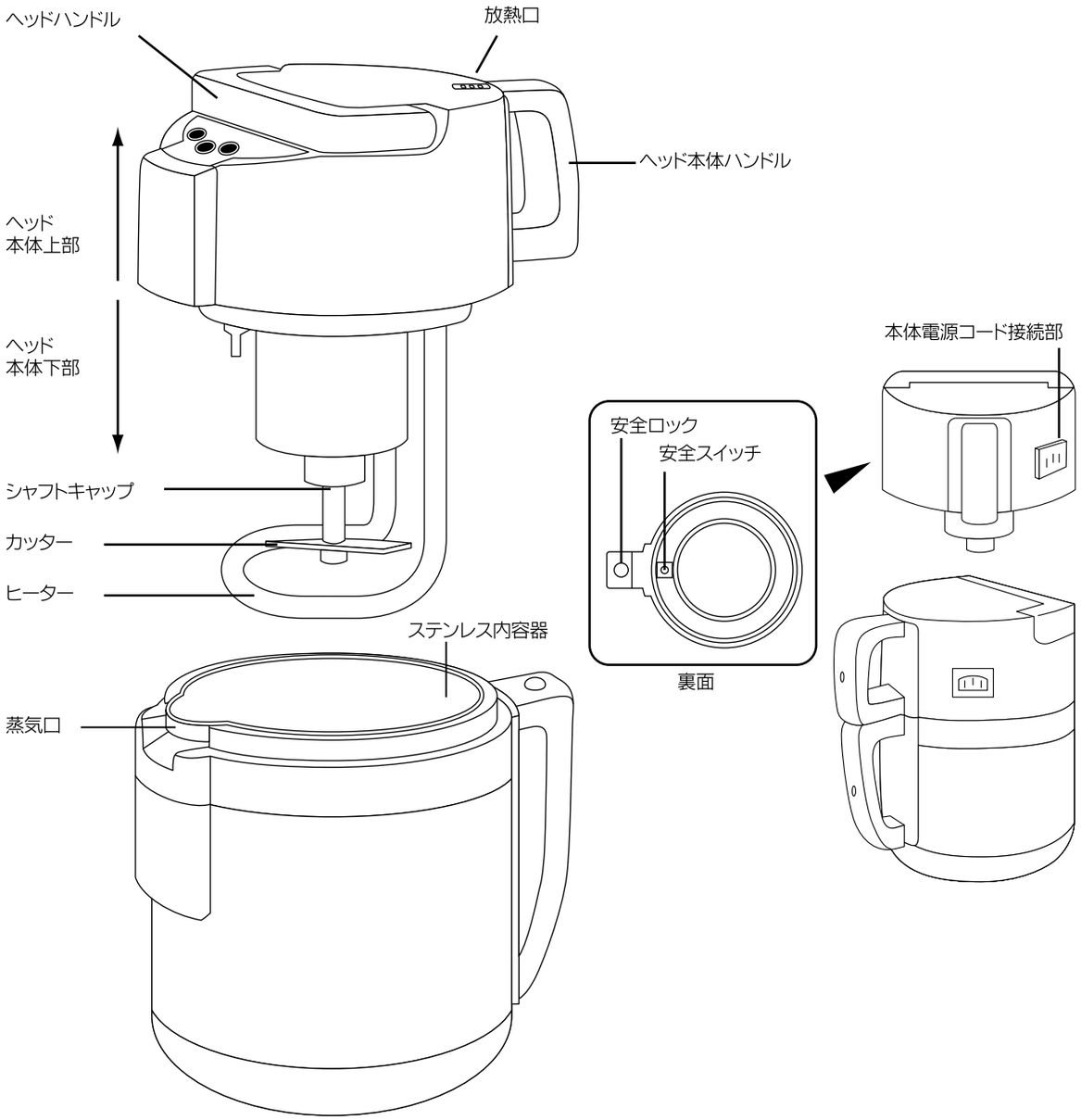
左と中央のランプが点滅する。
●差込プラグを一度抜き差ししても同じですか?
●故障の恐れがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

右と中央のランプが点滅する。
●繰り返し使用していませんか?本体を冷ましてからお使いください。

※料理終了後にはランプが点滅します。

各部の名称

ヘッド本体



容器本体

注意

電源コードは必ず容器本体にヘッド本体を
セットしてから取り付けてください。
差込プラグは本体のセットが完了してから、
コンセントに差し込んでください。
ヘッド本体下部の安全スイッチを指や先の尖った
もので押さないでください。

・誤作動や故障の原因になります。

作動中に安全ロックを外したり、電源コードを
抜いたりしないでください。

・作動中、ロックを外しますとスープがふきこぼれる恐れがあります。
また、電源コードを抜きますとスープができなくなります。

本製品は平らで安定した場所に置き、
ご使用ください。
容器内に食材が入った状態、電源コードが
付いた状態、作業中に本製品を他の場所に
移動しないでください。

・誤作動や火傷をする恐れがあります。またふきこぼれやすくなります。

ヘッド本体を水に浸したり、
直接水をかけたりしないでください。

・誤作動や故障の原因となります。また感電やケガをすることがあります。
・洗浄のときは必ず防水キャップを放熱口と本体電源コード接続口に
しっかり挿入してください。
・洗浄方法は13ページをご参照ください。
万一漏らしたときは直ちに使用を中止し、
販売店へご相談の上メーカーの点検を受けてください。

使用後は、ヒーターなどの温度が十分に
下がってから、早めにお手入れしてください。

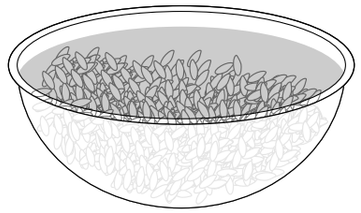
・汚れたままにしますと不衛生になります。
また、汚れが乾くと取れにくくなり、サビやコゲの原因になります。

ヘッド本体は必ず電源コードを抜き取り、
差込プラグを抜いた後、回転させて、
容器本体から外します。

・誤動作やケガ、感電の恐れがあります。

リゾット・おかゆの作り方

1

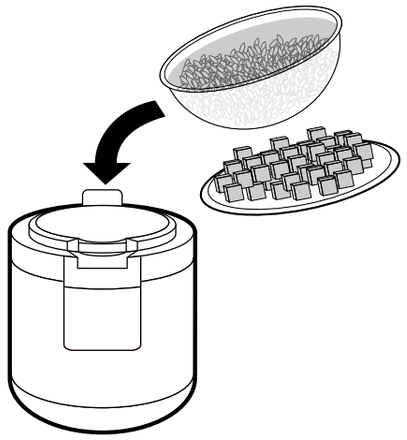


お米を浸す。

よくといだ生の米を約1時間(夏場は30〜40分)程度水に浸します。
水の量はレシピを参照してください。

●ゴミなどが入らないようにしてください。

2

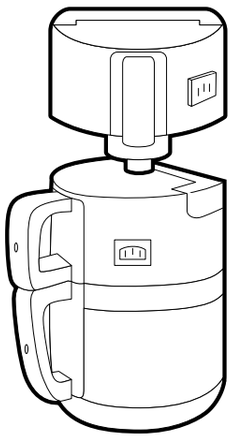


材料を入れます。

レシピを参考に材料を入れてください。

※冷凍されている食材は完全に解凍してからご使用ください。
●野菜の種類やカットの大きさにより、芯が残ったり、粉砕されないことがあります。
●人参などかたい食材は芯が残ったり、粉砕されないことがありますので、小さくカットするかレンジで蒸したものを使用することをお勧めします。

3



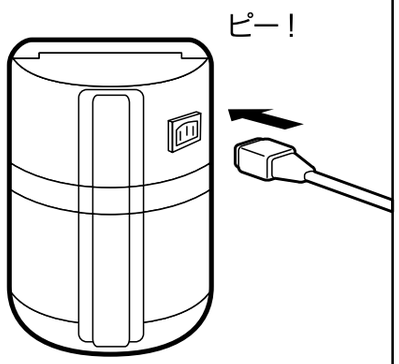
ヘッド本体を容器本体にセットします。

図のように、合わせマークを確認し容器本体ハンドル上の突起に重なるようにヘッド本体を回転してセットします。

●しっかりと重ならないと、電源が入りませんのでご注意ください。
●ヒーターが材料にあたって入らない場合は、ヘッド本体を何度か回しながら押し込んでください。
(強く押すと、部品を傷めることがあります。)

リゾット・おかゆの作り方

4



電源コードをヘッド本体に差し込みます。

必ず電源コードをヘッド本体に確認して差し込んだ後、
差込プラグをコンセントに差し込みます。
ピーという電子音が確認できれば準備完了です。

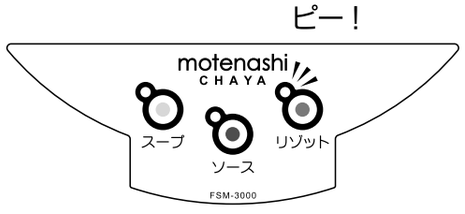
●容器本体が無水の場合、ランプが3つ点滅し警報を発します。

5

リゾットスイッチを押して作動開始です

（リゾットスイッチの上のランプが点灯します）加熱途中で１度カッターが回転します。

6



リゾットのできあがり。

終了音が鳴って、調理を終了します。
終了音が鳴り終わってもランプが点滅し、終了をお知らせします。
もう一度スイッチを押して、終了してください。

できあがり後、スープの作り方（１０ページ）
7,8に従ってください。
内容器の底に、お米がかたまっていることがあります。
またお米の種類によっては、蒸らし時間が異なることも
ありますので、少しかき回し、１０分程度蒸らしてください。
この時、電源コードを差し込んだり、スイッチを押したりしないでください。

警告

ヘッド本体や容器本体の穴や隙間にピンや針金等、異物を入れないでください。

・火傷や感電、異常動作してケガの原因となります。

作動時間は約30分です。ピーという電子音で作動完了をお知らせして、スイッチが切れます。作動が完了するまで本製品には触れないください。

・誤ってスイッチなどに触れると誤作動したり、火傷、故障の恐れがあります。

作動中、放熱口や蒸気口より高温の蒸気がでたり、吹きこぼれることがありますので、作動中に顔や手をヘッド本体に近づけず、置き場所に注意してください。

・火傷の恐れがあります。

カッターが回転して粉砕がはじまる前に誤って電源コードが抜けた場合、そのままヘッドを外さずに、スープの温度が下がってから、電源コードの差込プラグをしっかり差し込み、もう一度ボタンを押してください。

・ヒーターが熱くなっていますのでケガや火傷の原因になります。
　また食材がこげたり、ヒーターに焦げ付くことがあります。
・食材が粉砕されほとんどできあがった状態のスープは、
　そのまま余熱で仕上げてください。

お子様の手に届く場所でのご使用はお止めください。作動中、作動完了後の本製品周辺にお子様を近づけないように十分ご注意ください。

・お子様が誤って触ったり、倒したりしますと、ケガや火傷をする恐れがあります。

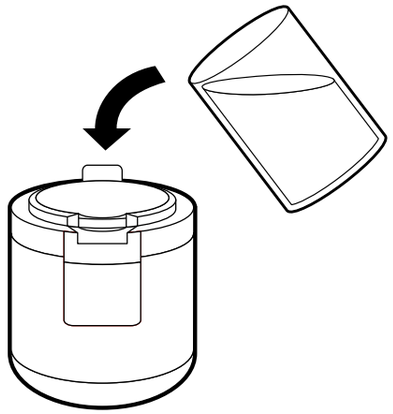
スープの温め直しはしないでください。

・一度仕上がったスープをスイッチを入れ再加熱すると、容器内のスープの分量によってはスープが激しく沸騰するため、容器本体とヘッド本体の突き合せ部からスープが漏れてくることがあり、故障の原因になります。
またヒーターがスープでこげつき、コゲが取れなくなります。
さらに沸騰しているスープなどにより火傷の恐れがあります。

作動完了直後のヒーター、スープ、ヘッドや容器のステンレス部は高温になっており大変危険です。

・ケガや火傷をする恐れがありますので取扱には十分ご注意ください。

1



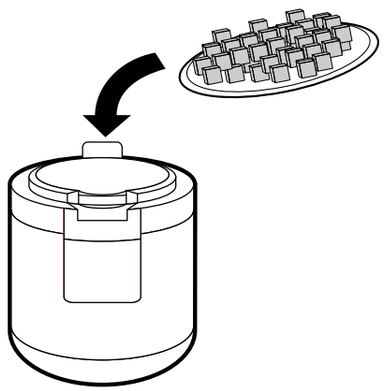
容器本体に水を入れます。

(同梱包のレシピを参照)
食材を入れた際に、水かさは900CC以下(矢印の先端以下)になるように調整してください。(1CC＝1ml)

※お湯は入れないでください。また牛乳や油脂分が多いものは入れないでください。(塩、牛乳や生クリームはスープの出来上がり後、食べるときの味の調えとしてお使いください。)

●容器本体内が無水の場合、
安全装置の働きで本製品は作動しません。

2

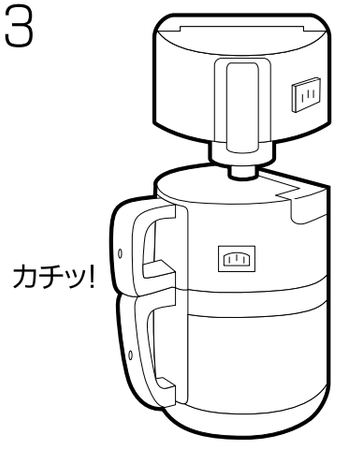


材料を入れます。

レシピを参考に材料を入れてください。

※冷凍されている食材は完全に解凍してからご使用ください。
●野菜の種類やカットの大きさにより、芯が残ったり、粉砕されないことがあります。
●人参などかたい食材は芯が残ったり、粉砕されないことがありますので、小さくカットするかレンジで蒸したものを使用することをお勧めします。

3

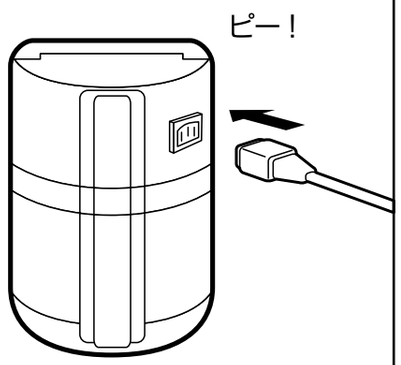


ヘッド本体を容器本体にセットします。

図のように、合わせマークを確認し容器本体ハンドル上の突起に重なるように、カチッと鳴るまでヘッド本体を回転してセットします。

●しっかりと重ならないと、電源が入りませんのでご注意ください。
●ヒーターが材料にあたって入らない場合は、ヘッド本体を何度か回しながら押し込んでください。
(強く押すと部品を傷める場合があります。)

4

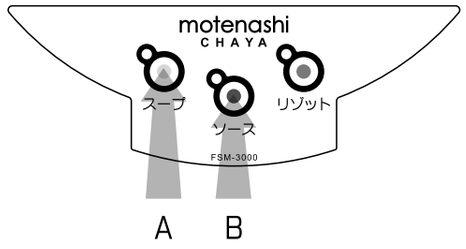


電源コードを本体に差し込みます。

必ず電源コードをヘッド本体に確認して差し込んだ後、差込プラグをコンセントに差し込みます。ピーという電子音が確認できれば準備完了です。

●容器本体が無水の場合、ランプが3つ点滅し警報を発します。

5

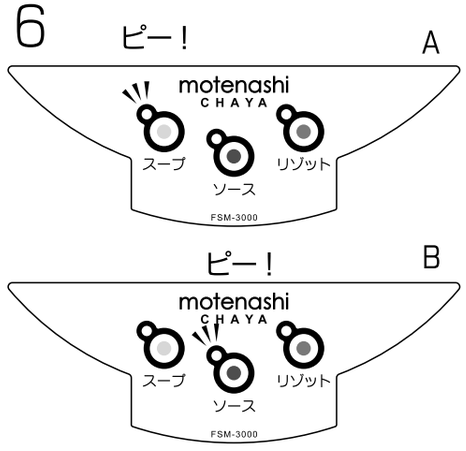


スープスイッチを押して、作動開始です。

A　スープの場合は左側のスイッチ
(ソーススイッチの上のランプが点灯します。)
B　ソースの場合は中央のスイッチを押してください。
(ソーススイッチの上のランプが点灯します。)
　作動開始から5分～10分程ヒーターで材料を煮込んだ後、カッターによる粉砕が始まります。
(ヒーターの加熱時間や、カッターの回転時間はスイッチによって異なります。カッターの回転はAスープの場合は5回
Bソースの場合は1回です)

●カッターが回転しますと、ガタガタと本体が振動しますが以上ではありません。
●作動中(調理中)は本体に触れないでください。

6

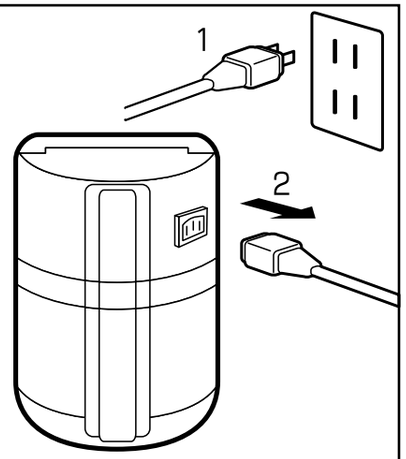


野菜スープの出来上がり。

終了音が鳴って、調理を終了します。
終了音が鳴り終わってもランプが点滅し、終了をお知らせしています。
もう一度スイッチを押して、終了してください。

スープの作り方(スープ・ソース)

7

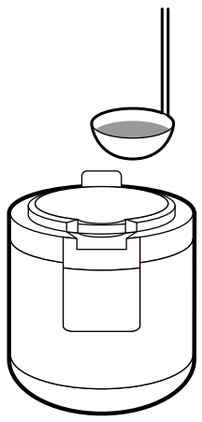


ヘッド本体を容器本体からはずす前に、必ず差込プラグを抜いた後、ヘッド本体から電源コードを抜き取ります。

ヘッド本体を回転させて、静かに上に持ち上げてはずします。
スープのたれや吹き上がる蒸気に注意して、スタンドの上にヒーターを合わせてのせます。

●ヘッド本体からたれるスープは熱いので、注意してください。
●スタンドの上にのせるときは、静かにセットしてください。
(倒れると危険です。)

8



野菜スープをオタマ等で容器に移します。

野菜スープを容器に移す場合は、必ずオタマ等を使用し、
茶わん等耐熱性のある容器に移してから、お召し上がりください。
お好みに合わせて生クリーム、塩、コショウなどで調味してください。

※オタマですくえなかった少量のスープは、内容器の凹部を利用して注いでください。

＜ご注意＞
本体容器を傾けて野菜スープを本体の容器に、移しかえることはおやめください。
火傷をする恐れがあります。

ヘッド本体を水に浸けたり、直接水をかけたりしないでください。誤作動や故障の原因になります。また感電やケガをすることがあります。

注意

必ず水は、300CC以上入れてください。

・水が少ないと加熱し過ぎたり、作動しないことがあります。
・ピー、ピーとブザーでエラーを知らせることがあります。

また最大量は900CC(水と食材の量)以下になるように調節してください。

使用後は、充分に食品カスを洗い流し、水分をよくふき取って乾かしてください。
スープの塩分でさびてしまうことがあります。

連続で使用しないでください。必ず使用後、その都度お手入れしていただき、本体が十分冷えてからご使用ください。

・コゲや故障の原因になります。また、うまく調理できないことがあります。
・内部の温度が高いとき、ピー、ピーと、ブザーでエラーを知らせることがあります。

食材を入れた際の水かさは、容器内の矢印の先端を越えないでください。

・スープがふきこぼれて火傷の恐れがあります。水と食材の量は、添付のレシピブックに従って入れてください。

子供だけで使わせないでください。

・ケガや火傷をする恐れがあります。

使用中に本体を転倒させないでください。

・スープが流れ出て火傷の恐れがあります。

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜いてください。

・ケガや火傷、火災の原因になります。

牛乳や油脂分の多いものをいれての使用は絶対にしないでください。

・ヒーターにこげつくなど故障の原因になります。

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜いてください。

・感電やショートして発火の原因になります。

本体を移動させる場合はヘッドハンドルを持ってください。

・ヘッドハンドルや、ヘッド本体ハンドルを持つと本体が落下してケガの原因になります。